



賃貸住宅フェア2018in広島に出展しました！

今年度、初めての賃貸住宅フェアが広島で開催されました。
広島での開催は実に10年ぶりということで、多くのオーナー様や管理会社様が
来場され、会場は熱気に包まれていました。



セキュラのブースにも多くのお客様が来場されました。
今回は強力な助っ人に参加して頂きました。広島県に拠点を置くセキュラ代理店の『ジン・コーポレーション』様、『永晃機工』様です。来場されたお客様に、丁寧かつ熱心にマイロックを紹介するなど、皆で一致団結してブースを盛り上げました。





社長である藤井の熱弁を真剣に聞くお客様。
空室対策やこれからの人口減に対して取り組みを始めようとするオーナー様や管理会社様も多くいらっしゃいました。
そうした方々へ、マイロックを通じて何かお役に立ちたいという気持ちから、トークも自然と熱くなっていきました。

世界初！カード連動型宅配ボックス誕生！！ 特許出願中

エントランス・各部屋・宅配ボックスの解錠が1枚のカード
もしくは暗証番号でOK！！

専用カードもしくはお客様お持ちのICカードを登録することで解錠できます。暗証番号での登録・解錠も可能です。カラーは2種類、設置タイプもスタンド式・壁掛式の2種類です。

今回セキュラのブースに初登場したのは宅配ボックスです。こちらは広島県の株式会社アイエヌケイコミュニティ様とセキュラが共同開発した、電気工事不要の宅配ボックスです。制御部はマイロックのシステムを応用しており、最大の特徴はマイロック同様、任意のICカードもしくは暗証番号を登録して解錠ができることです。
つまり、この宅配ボックスとマイロックを併設すれば、同じカード一枚で玄関も宅配ボックスも開けることができるようになるということになります。
現在、セキュリティと宅配ボックスは、賃貸物件において最も人気のある設備です。それらを暗証番号や、カード一枚で運用できる、非常に画期的なシステムができあがります。
※宅配ボックスの詳細は次月以降のかわら版で紹介をする予定です。


～お知らせ～ 賃貸住宅フェア2018in九州に出展いたします。

今月も引き続き賃貸住宅フェアが開催されます。舞台は福岡です。昨年より、福岡だけでなく、九州一円の企業が参加するようになりました。
今回も精一杯マイロックをアピールしお客様へのお役立ちができるよう努めます。是非フェア及びセキュラのブースにお越しください。一同心よりお待ちしております。

賃貸住宅フェア2018 in九州

開催日	5月15日(火)・16日(水)
開催時間	10:00～17:00
会場	福岡国際センター





セキュラトピック ~様々なセキュリティサービス

マイロックを利用したエントランスオートロック再生工事

北九州市にある賃貸物件です。全部屋にマイロックVE-10が設置されています。この度、エントランスオートロックの問題をマイロックを利用し解決しました。マイロックを使用したエントランスオートロックを新設することはありますが、従来あるものを再生することはごく稀なケースです。お客様のご要望により、再生工事を行いました。



左:新しく設置したテンキー部

右:各部屋から解錠するための制御部と、各部屋に設置したリモコン



竣工当初のオートロック運用方法です。

- ①エントランス外側から、テンキーで解錠して入館する。
- ②各部屋から解錠方法はなく、来訪があると、入居者がその都度エントランスまで出迎える。

長年の使用で、以下の問題が発生しました。

- ①テンキーが経年劣化し、ボタンの反応が悪くなる。
- ②来訪者に対して暗証番号を教えてしまうなど、番号の管理があやふやになり、入居者以外にも暗証番号を知る人が増え、セキュリティレベルが低下していた。

発生した問題を以下の方法で解決しました。

- ①従来のテンキーを取り外し、マイロックのテンキーを設置する事で確実に暗証番号入力を行えるようになりました。
- ②遠隔制御システムを製造・導入。それを従来の電気錠に接続し来訪者に対して各部屋から無線リモコンによる解錠を可能にしました。これにより暗証番号の流出が無くなりました。

今回の工事の大きな特徴は、マイロック本体を設置していないことです。しかしながら、従来ある電気錠を残しながらも、マイロックのパーツや部品を利用し、操作性や利便性を高めると同時に再び使用できるシステムを製作しました。これも、セキュラ最大の強みである『物件に合ったオーダーメイドサービス』だからこそ成せる業であります。

ドア周りの設備改修工事

ドアクローザーおよびフロアヒンジ交換

ドアクローザーとは、ドアの上部に取り付け、油圧によりドアをゆっくり自動的に閉めることができる装置です。ドアから手を放した時などに「バタン」と音をたてたり、強い衝撃を与えることを抑える効果があります。主に玄関ドアなどで採用されています。

フロアヒンジとはドアクローザーと同様、ドアの開閉スピードを制御・調整する装置で、こちらはドアの軸下の床に埋め込んで設置されます。マンションやビルの扉の多くに採用されています。

これらの装置が錆やオイル漏れなどで劣化・故障すると、扉を開ける際に重くなったり、閉める際にブレーキが効かず勢いよく閉まるなど、不便になると同時に危険が増します。

フロアヒンジ交換



エントランスドア下のフロアヒンジ外観。一見するとキレイにも見えますが...



フタを外して中を見ると、サビによる腐食がかなり進んでいました。



新しい物と交換し、設置完了。入居者も物件担当者様もこれで安心です。

ドアクローザー交換



交換前と交換後のドアクローザー。こちらの物件の非常扉すべて11台分の交換を行いました。

担当の梶原社員は、マイロックだけでなく、それ以外にも何かお悩みや問題があればご相談下さいと常日頃から物件担当者様にお声掛けをしていたところ、今回のご依頼をいただきました。

ドア周りの改修など、物件に関するお悩み事がございましたら、私たちセキュラにお気軽にご相談ください。

今月の言葉

【一球目はファンのため、二球目は自分のため、三球目は西本くんのため】

先月お亡くなりになった、2215試合連続出場記録を持つ元広島東洋カープの“鉄人”衣笠祥雄さんのエピソードです。1122試合連続出場中のある巨人戦での事です。西本聖投手から左肩に死球を受けてしまいます。試合後に左肩甲骨の骨折と診断されました。しかしながら翌日の試合に代打で強行出場。骨折の痛みを堪えながらフルスイングで三球三振しました。試合後にどうしてフルスイングしたのか訊かれて答えたのが上記の言葉です。

当時まだ5年目と若かった西本投手は試合翌日の朝、骨折をさせてしまった事を知りショックを受け落ち込んでいましたが衣笠選手のこの言葉に救われたそうです。

その後も出場も続け、11打席目にヒットを放った衣笠選手は全治2週間の骨折をこう振り返ったといひます。「左肩でよかったよ。バットも振れるし、ボールも投げられたからね。」

ライバルチームの、しかもボールをぶつけた相手にも気を配ることのできる性格、そして野球が好きで常に前向きな性格が記録と同様に記憶に残る、偉大な選手であったと思います。